

別記様式

会 議 録

| | |
|----------------|--|
| 会議の名称 | 令和7年度 第3回戸田市DX推進計画検討委員会 |
| 開催日時 | 令和8年1月26日(月) 午前9時00分～午前10時00分 |
| 開催場所 | 501会議室 |
| 委員長等氏名 | 委員長：学識経験者 庄司 昌彦 副委員長：共創企画課長 渡辺 大助 |
| 出席者氏名 (委員) | 【行政DXに興味関心がある市民又は市内ICT関連企業在勤者】 Code for TODA 伊藤 利昭 戸田市ITボランティアの会 稲田 隆博 【市職員】 危機管理防災課長 雨宮 博子 行政管理課 仙波 敦雄 市民課長 山道 敏雄 経済戦略室担当課長 長谷川 昌之 生活支援課長 高木 健悟 子育て支援課 鎌田 陽子 都市計画課長 今泉 良太 市民医療センター総務課 西口 以佐子 会計課 西口 学 総務課長(消防本部) 仲澤 康之 教育総務課長 重信 雄太 |
| 欠席者氏名 (委員) | 市長公室担当課長(市長公室長) 内山 敏哉 総務課長(水安全部次長) 東口 俊博 議会事務局次長 生出 豊 行政委員会事務局担当課長 遠藤 康雄 |
| 説明のため 出席した者 | |
| 事務局 | デジタル戦略室 佐藤室長、島田課長、菊地副主幹、伊藤副主幹、林主任 インフォ・ラウンジ株式会社 小林氏、下山氏、良田氏、大井手氏 |
| 議 題 | 1. 戸田市DX推進計画(案)について 2. その他説明事項について |

| | |
|-------|---------------------------|
| | 3. 質疑応答 4. その他 |
| 会議結果 | 各議題について、事務局説明のとおり承認 |
| 会議の経過 | 別紙のとおり |
| 会議資料 | ・戸田市DX推進計画(案) ・その他説明資料 |
| 議事録確定 | 令和年8年3月2日 |

(会議の経過)

| 発 言 者 | 議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項 |
|-------|---|
| | <p>【1 開会】</p> |
| 事務局 | <p>【2 議題】</p> <p>議題1 戸田市DX推進計画(案)について</p> <p>「戸田市DX推進計画(案)について」、前回委員会からの変更点、前回委員会における意見を踏まえた修正点を中心に説明。</p> |
| 事務局 | <p>議題2 その他説明事項について</p> <p>(1) パブリックコメントの実施結果</p> <p>令和7年12月5日から約1ヶ月間、意見募集を実施。提出意見は1件で、計画全般への理解と期待に関する内容であった。回答としては、計画の考え方を補足するとともに、「人とまちをつなぐデジタル市役所 とだ」の実現に向け取り組むこと等を回答する旨説明。</p> |
| 事務局 | <p>(2) 今後のスケジュール</p> <p>資料に従い、今後のスケジュールについて説明。</p> |
| 委員 | <p>議題3 質疑応答</p> <p>DX人材の育成・確保に関し、部署横断の取組みを行っていく予定はあるか。</p> |
| 事務局 | <p>人材育成を所掌する人事課と協議中であるが、DXリーダーに対してDX、BPR、ノーコード等の研修を実施し、情報交換会にて各課題の抽出と発表会の実施を想定している。個人の自己研鑽に留めず、全庁で情報共有をしながら進めることを想定している。</p> |
| 委員 | <p>情報交換会や発表会ではオンラインツールの活用も検討するとよい。</p> |
| 委員長 | <p>交流会や発表会等へは、市民委員にも参加してもらうこともよいと考える。</p> |

| | |
|-----|---|
| 事務局 | <p>いただいたご意見は人事課に共有してまいりたい。</p> |
| 委員 | <p>デジタルデバインド対策について、意欲がある人々は支援策でフォロー可能だが、必要性を感じない人々や安全性不安、設定が難しいと考える人々に対する具体的な施策は想定しているか。</p> |
| 事務局 | <p>意欲がある人々については、パソコン教室やスマホ相談会等でフォローできるものと考えている。一方、そうでない人々への訴求は課題である。間接的な手法となるが、使いやすいホームページや、オンライン申請の環境整備等を進めることにより、市民間で便利であることを共有してもらえよう取り組んでいきたい。また、具体的な施策については、今後も検討を続けていきたい。</p> |
| 委員 | <p>市議会への報告やその時期、市民向け周知方法について想定はあるのか。周知に当たっては、広報戸田市の活用予定はあるか。</p> |
| 事務局 | <p>内部で検討のうえ、市議会へ周知を図りたい。また、市民向けについては、紙での印刷は予定しておらず、ホームページや各種 SNS を活用した周知を予定している。広報誌への掲載による周知については内部で検討を行いたい。</p> |
| 委員 | <p>本計画の進捗管理手法についてはどのような想定か。</p> |
| 事務局 | <p>現在、全所属に対して本計画を進めるための現状や課題について調査を実施しており、令和12年度に向けた目標も含め集計し、管理していく想定である。毎年度全所属向けに照会を実施し、進捗管理をしていきたいと考えている。1件でも多く目標とした施策が達成されるよう取り組みたい。</p> |
| 委員長 | <p>議題4 その他 委員会講評 本検討委員会の振り返りとして、国等の動向を踏まえながら、戸田市の現状や事実に基づいた議論を積み重ねてきた点、また、市民アンケートや市民委</p> |

員の意見を適切に反映し、市民参加型で計画策定を進めてきた点は高く評価できる。今後も引き続き、データに基づく議論と市民との関係性を大切にしながら取り組んでほしい。

また、本計画は策定そのものが目的ではなく、実現していくことが重要であり、そのためには職員一人ひとりの行動変容が不可欠である。DX においては「D」ではなく「X（トランスフォーメーション）」が本質であり、組織文化の変革が求められる。迷った際には、ビジョン・ミッション・バリューに立ち返り、行動指針として共有・実践していくことで、DX を着実に推進できるものとする。

さらに、DX を進める中においても、対面でのコミュニケーションの機会を大切にしてほしい。改革に伴うミスコミュニケーションには十分留意し、全庁が連携・協力しながら相乗効果を生み出せる体制のもとで取り組むことを期待する。

【3 閉会】